

様式例・記載例 (事業報告用「前事業年度の計算書類(定款にその他の事業が掲げられている場合の活動計算書)」)

(注意: 水色のセルには計算式を設定しております。必要に応じて式を修正した上で、ご利用ください。)

2020年度 活動計算書

2021年2月4日から2021年3月31日まで

(法人名称) NPO法人おりがみ

(単位: 円)

科目	特定非営利活動 に係る事業	その他の事業	合計
I 経常収益			
1. 受取会費			
正会員受取会費	77000		77000
賛助会員受取会費			
2. 受取寄附金			
受取寄附金			
3. 受取助成金等			
受取民間助成金			
○○市補助金			
4. 事業収益			
○○事業収益			
△△事業収益			
5. その他収益			
受取利息			0
雑収益			0
経常収益計	77000	0	77000
II 経常費用			
1. 事業費			
(1) 人件費			
給料手当			0
法定福利費			0
退職給付費用			0
福利厚生費			0
人件費計	0	0	0
(2) その他経費			
会議費	5200		5200
旅費交通費			0
地代家賃			0
減価償却費			0
支払利息			0
その他経費計	5200	0	5200
事業費計	5200	0	5200
2. 管理費			
(1) 人件費			
役員報酬			0
給料手当			0
法定福利費			0
退職給付費用			0
福利厚生費			0
人件費計	0		0
(2) その他経費			
会議費			0
旅費交通費			0
地代家賃			0
減価償却費			0

人件費とその他
経費に分けた上
で、支出の形態
別に内訳を記載

支払利息			0
その他経費計	0		0
管理費計	0		0
経常費用計	5200	0	5200
当期経常増減額	71800	0	71800
III 経常外収益			
1. 固定資産売却益	0		0
経常外収益計	0		0
IV 経常外費用	0		0
1. 過年度損益修正損			
経常外費用計	0		0
経理区分振替額	0	0	0
税引前当期正味財産増減額	71800		71800
法人税、住民税及び事業税			76000
当期正味財産増減額			△ 4200
前期繰越正味財産額			9000
次期繰越正味財産額			4800

(注) 重要性が高いと判断される使途等が制約された寄附金等（対象事業等が定められた補助金等を含む）を受け入れた場合は、「一般正味財産増減の部」と「指定正味財産増減の部」に区分して表示することが望ましい。表示例は以下のとおり。

(一般正味財産増減の部)

I 経常収益

1. 受取寄附金

受取寄附金振替額

× × ×

II 経常費用

2. 事業費

援助用消耗品費

× × ×

(指定正味財産増減の部)

受取寄附金

○○○

一般正味財産への振替額

△ × × ×

様式例・記載例 (事業報告用「前事業年度の計算書類(貸借対照表)」)

(注意: 水色のセルには計算式を設定しております。必要に応じて式を修正した上で、ご利用ください。)

2020年度 貸借対照表

2021年3月31日現在

(法人名称) NPO法人おりがみ

(単位: 円)

科目	金額	
I 資産の部		
1. 流動資産		
現金預金	124800	
未収金		
流動資産合計		124800
2. 固定資産		
(1) 有形固定資産		
什器備品		
有形固定資産計	0	
(2) 無形固定資産		
ソフトウェア		
無形固定資産計	0	
(3) 投資その他の資産		
敷金		
○○特定資産		
××銀行定期預金		
投資その他の資産計	0	
固定資産合計		0
資産合計		124800
II 負債の部		
1. 流動負債		
未払金		
事務用品購入代		
通信費		
預り金		
源泉所得税預り金		
受取会費（次年度分）		
流動負債合計		0
2. 固定負債		
長期借入金		
××銀行借入金		
理事借入金		
固定負債合計		0
負債合計		0
III 正味財産の部		
前期繰越正味財産		
当期正味財産増減額		
正味財産合計		0
負債及び正味財産合計		0

(注) 重要性が高いと判断される使途等が制約された寄附金等（対象事業等が定められた補助金等を含む）を受け入れた場合は、「Ⅲ 正味財産の部」を「指定正味財産」と「一般正味財産」に区分して表示することが望ましい。表示例は以下のとおり。

I 資産の部

1 流動資産

II 負債の部

III 正味財産の部

1 指定正味財産

指定正味財産合計

× × ×

2 一般正味財産

一般正味財産合計

○○○